



抜歯のまえ抜歯のあと コンプリートガイド



抜歯が必要なのはどんなとき？抜歯するのは、歯科医師にとっても気が重いもの。現在の歯科はよほどの理由がなければ歯を抜きません。それでもあえてご提案するのは「抜くことによって患者さんを守る」という明確な目的があるからなのです。

理由その1 「むし歯や歯周病で 治療するには手遅れ。」

歯の中にたまった膿が周りの骨にもおよび、根っこを掃除したり手術をしたりしても救えない重篤なむし歯。歯を支える骨が修復不可能なほど壊れている、重篤な歯周病になった歯。

理由その2 「隣の歯や周りの骨に 悪影響がある。」

横向きに隣の歯を押す親知らずや、大きく縦に割れた歯などは、そのままにしておくとならば被害が周囲に拡大してしまいます。

理由その3 「炎症の根本原因を 除去するために。」

むし歯や歯周病の炎症が原因で、口やあごの骨、さらには全身に影響がおよぶとき。治療しても繰り返して腫れる場合などに、炎症の原因を取り去るための最終手段として行います。

理由その4 「矯正や入れ歯などの 治療のために。」

矯正、入れ歯や被せ物、インプラントなど、ご希望の治療の結果がより安定し、よい状態が長くもつように戦略的に行います。

理由その5 「粘膜を 傷つけないために。」

噛んで食べようとするとき粘膜にあたり痛くて噛めないときや、粘膜にできた悪性腫瘍とこすれて刺激してしまうような場合、抜いてケガを防止します。

《抜歯まえのチェックポイント》

■血液サラサラの薬、飲んでいませんか？

(血が止まりにくくなります。)

■発熱や二日酔いはダメです。

(からだの調子を整えてのぞみましょう)

■予約日の取りかたに注意を！

(抜歯後に腫れや痛みが心配になったとき、次の日が休診日だと不安になりますよね。できれば週の頭の午前に入れるのがおすすめ。女性のかたは、生理日は出血しやすい傾向にあるので避けましょう)

《抜歯のあとはこんなことに気をつけて》

■ガーゼは 30 分ちゃんと噛もう。

(傷口をおさえ、しっかりと止血しましょう。)

■ブクブクうがいは NG です。

(傷口を守る血餅をうがいや舌で触って失うと痛みや出血の原因に。口をすすぎたいときは、水をそっとふくむ程度で。)

■運動、入浴、飲酒はお休み。

(入浴で血行がよくなると当然ながら出血しやすくなります。運動、飲酒は 2~3 日我慢を！)